

ある町の 天気相談所

Vol.91 2025.07.04

令和7年7月号



今年の梅雨入りについて

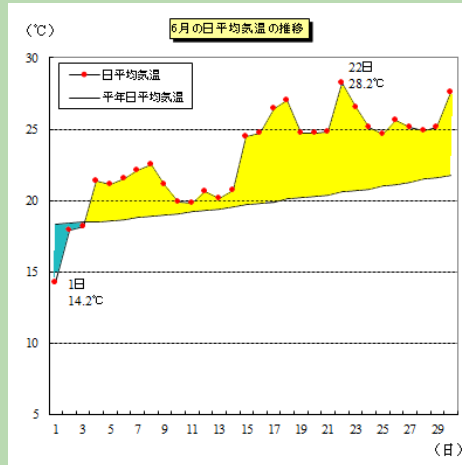
2025年の関東地方の梅雨入りは、平年より3日遅く、昨年より11日早い、6月10日頃でした。5月16日に九州南部からはじまり、梅雨のない北海道を除き、6月14日までに梅雨入りの発表がありました。(なお、西日本では6月27日に梅雨明けの発表がありました。)

近年の梅雨入りと梅雨明け

	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月07日	7月19日
2024年	6月21日(平年より14日遅い)	7月18日
2023年	6月08日(1日遅)	7月22日
2022年	6月06日(1日早)	7月23日
2021年	6月14日(7日遅)	7月16日
2020年	6月11日(4日遅)	8月01日
2019年	6月07日(0日)	7月24日
2018年	6月06日(1日早)	6月29日

6月の気候

6月は、本州の南に前線が停滞し、周期的に雨が降りましたが、高気圧に覆われ晴れる日が多くなりました。平年よりかなり高い気温となり6月の月平均気温は23・0度となり、最高気温平均、最低気温平均も含めて、これまでで最も高くなりました。雨の日は少なく、晴れた日が多かったため、月合計降水量は101・0ミリと平年の65パーセントと少なく、月合計日照時間は149・9時間と平年の122パーセントと多くなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。平均気温は「高い」、降水量は「平年並みか少ない」、日照時間は「多い」となる見込みです。

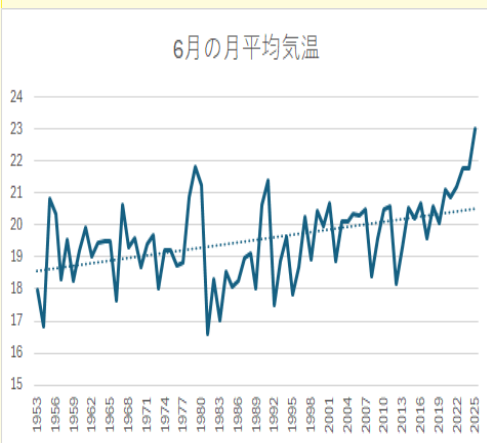
6月の気温

2025年の6月の月平均気温は23・0度と、これまでで最も高い気温となり、6月の夏日の日数(22日)はこれまでで最も多く、真夏日の日数(5日)は2番目に多くなりました。中旬頃から高気圧に覆われる日が続き、気温が高い日が多くなりました。

ここ最近では6月の平均気温は高い年が多くなっています。年により気温の差は大きいですが、月平均気温が21度を超えたのは2020年までは1979年1980年1991年の3回でしたが、2020年以降は2021年を除いた5回となっています。

最高気温が30度を超える平年の日数は1990年代は0・6日でしたが、現在は1・2日で、はじめて30度を超える日も6月下旬になっています。

6月の月平均気温



天気用語の基礎知識

表面雨量指数

短時間強雨による浸水危険度の高まりを把握するための指標。地面の状態によって、雨水が貯まりにくかったり、地表面に貯まりやすい特徴がある。こうした地面の状況や地質、地形や勾配などを考慮して、降った雨が地表面にどれだけ貯まっているかを、タンクモデルを用いて数値化したもの。その地点での大雨警報等の判断基準は、過去の災害などをもとに計算されており、これと現在の値を比較することでその地点での、浸水発生危険度を判断できる。(参考: 気象庁ホームページ)

……神峰の山から……

大阪・関西万博が開催されていますが、筆者にとって唯一、行ったことがあるのは、1985年の科学万博です。県内で開催されましたが、当時は筑波まで遠く、小学校低学年であったことから、会場に行った記憶だけで、あまりパビリオンをみた記憶が残っておりません。なんとも残念なことです。ただ、空に浮いている水道の蛇口のオブジェの展示は、どうしても浮いていて水が出てるんだらうと、不思議に思い、記憶に残っています。筆者にとって、科学万博はこの水道の蛇口です。

発行 日立市天気相談所
日立市助川町1丁目1番1号
電話 0294(22)5520